

事業番号	07 04 23	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州日本酒全国No.1奪還プロジェクト事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室		
	施策の総合的展開			E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-1 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H28 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ(ア) 地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	全国新酒鑑評会において、金賞受賞数の全国No.1の地位を奪還することにより、信州日本酒の評価を高めるとともに、成功事例を示すことで酒造りへのモチベーションアップと消費拡大につなげ、地場産業振興による県内産業を活性化する。		
現状 (予算編成時)	長野県内の酒蔵は81あるが、嗜好の多様化や新潟東北地方の地酒人気の影響もあり、日本酒の消費量は昭和50年頃をピークに現在では1/3程度となっている。 平成27年12月、議員提案による「信州の地酒普及促進・乾杯条例」制定。条例の中で、「県は、条例の基本理念にのっとり、地酒の普及の促進に資する施策を講ずるよう努めなければならない。」としている。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 信州の地酒普及促進・乾杯条例(平成27年12月施行)により、県の取組として、地酒の普及の促進に資する施策を講ずることとされている。
	県民との協働による実施: 実施中	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	全国新酒鑑評会における金賞受賞数21歳・全国No.1の奪還(H30)。H28福島県22歳で日本一・5連覇、長野県10歳で8位				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
醸造指導体制の強化	委託	全国新酒鑑評会での金賞獲得数日本一に向けて、スーパーバイザーと分析従事者を配置し、重点酒蔵への指導を行い、醸造技術と酒質の向上を促進。長野県酒造組合に業務委託。	0	4,352	14,119
県産酒米の活用促進 (酒蔵への助成)	補助	-	0	0	3,113
		合計	0	4,352	17,232

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算			17,232				目標	成果	達成状況	
		補正予算		4,352		新酒鑑評会における金賞受賞数	-	11歳	13歳	10歳	未達成	13歳
		合計(A)	0	4,352	17,232							
	Aの財源	一般財源		4,352	17,232							
		県債										
		国庫支出金										
		その他	0	0	0							
	決算額(B)		4,352									
概算人件費	職員数(人)		0.2									
	概算人件費(C)	0	1,583	0								
概算事業費(B(A)+C)	0	5,935	17,232									

目標に対する成果の状況	酒造組合にスーパーバイザーと分析従事者を配置し、重点酒蔵を巡回し、分析数値に基づいた指導助言を実施。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 事業を通年で実施し、技術向上とノウハウ上達につなげるとともに、県産酒米での受賞に向けて活用促進を助成し、酒蔵の金賞受賞を促進する。
--------------------	--